



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ぴあ

コード番号 4337 URL <http://www.pia.co.jp/pia/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 眞子 祐一

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,276	11.3	△123	—	△129	—	△136	—
24年3月期第1四半期	24,515	4.7	96	—	91	—	86	296.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △135百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 87百万円 (331.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△9.69	—
24年3月期第1四半期	6.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	29,790	3,814	12.7	268.14
24年3月期	33,389	3,992	11.8	280.84

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,772百万円 24年3月期 3,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	△6.1	△350	—	△360	—	△400	—	△28.43
通期	100,000	△1.9	200	130.2	170	82.3	150	71.3	10.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	14,092,913 株	24年3月期	14,092,913 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	22,481 株	24年3月期	22,472 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	14,070,437 株	24年3月期1Q	14,070,441 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景として、緩やかに回復しつつあるものの、海外経済の停滞や円高等による景気の下振れリスクが存在する状況で推移しました。

国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、復興が進むにつれ順調に回復しており、当第1四半期連結累計期間においても底堅く推移しております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、音楽ジャンルを中心に大型興行のチケット販売が引き続き好調に推移しました。インターネットでのチケット販売も順調に拡大しており「ぴあ会員」は1,000万人を突破しております。また、新たな取組みとして、「東京スカイツリー」の個人向け入場券チケットのWEBサイトの運営を当社が受託するなど、売上は順調に伸張し、第1四半期としては過去最高の売上高を記録しました。

一方、大型興行チケットの仕入コストやソリューション・ビジネスの拡大に伴う費用計上等、コストが増加いたしました。加えて、出版点数の抑制等により前期と比して返本高の影響もあり、期初想定通りではありますが一時的に粗利率は悪化いたしました。

以上の結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高272億76百万円(対前年同期比111.3%)、営業損失1億23百万円(対前年同期比2億20百万円悪化)、経常損失1億29百万円(対前年同期比2億20百万円悪化)、四半期純損失1億36百万円(対前年同期比2億22百万円悪化)と増収減益となりました。

売上に貢献した主なイベント等は次のとおりであります。

(チケット販売)

「Mr.Children」、「ROCK IN JAPAN FES. 2012」(国営ひたち海浜公園)

「a-nation 2012」(長居スタジアム・味の素スタジアム)

「2014FIFAワールドカップ アジア最終予選」

「東京スカイツリー 天望デッキ」、「ツタンカーメン展」(大阪・東京) ※当社出資興行

(MOOK本)

「夏ぴあ」(首都圏版/関西版/東海版)、「しょうゆ麴・塩麴レシピ」、「恐竜ぴあ」

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、297億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して35億99百万円減少いたしました。流動資産は266億97百万円(前連結会計年度末比33億31百万円減)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少(同31億84百万円)であります。また、固定資産は30億92百万円(前連結会計年度末比2億67百万円減)となりました。

負債は、259億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億21百万円減少いたしました。流動負債は245億71百万円(前連結会計年度末比32億99百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の減少(同32億84百万円)であります。固定負債は14億4百万円(前連結会計年度末比1億22百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同1億28百万円)であります。

純資産は、38億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億77百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少(同1億78百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,857,043	12,672,636
受取手形及び売掛金	13,021,080	13,103,744
商品及び製品	89,209	102,039
仕掛品	1,261	6,572
原材料及び貯蔵品	5,377	5,778
その他	1,105,736	854,780
貸倒引当金	△50,553	△48,387
流動資産合計	30,029,155	26,697,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	137,353	137,196
工具、器具及び備品（純額）	129,466	129,426
土地	6,240	6,240
その他（純額）	6,195	5,298
有形固定資産合計	279,255	278,161
無形固定資産		
のれん	8,286	7,262
ソフトウェア	1,807,089	1,522,887
ソフトウェア仮勘定	46,719	69,634
その他	61,129	60,933
無形固定資産合計	1,923,225	1,660,717
投資その他の資産		
投資有価証券	359,205	358,935
その他	1,126,003	1,129,332
貸倒引当金	△327,334	△334,204
投資その他の資産合計	1,157,874	1,154,062
固定資産合計	3,360,355	3,092,941
資産合計	33,389,511	29,790,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,450,437	20,166,304
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	782,092	673,810
未払金	1,033,055	1,180,571
未払法人税等	39,324	16,731
賞与引当金	90,750	5,484
返品調整引当金	350,000	270,000
その他	1,725,000	1,858,309
流動負債合計	27,870,660	24,571,211
固定負債		
長期借入金	945,858	816,950
退職給付引当金	71,779	77,095
役員退職慰労引当金	99,367	103,173
資産除去債務	59,971	60,154
その他	349,165	346,660
固定負債合計	1,526,142	1,404,035
負債合計	29,396,802	25,975,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,239,158
資本剰余金	402,670	402,670
利益剰余金	△610,236	△788,834
自己株式	△61,356	△61,363
株主資本合計	3,970,236	3,791,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,613	4,198
為替換算調整勘定	△23,319	△23,042
その他の包括利益累計額合計	△18,706	△18,843
少数株主持分	41,178	42,073
純資産合計	3,992,708	3,814,859
負債純資産合計	33,389,511	29,790,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	24,515,915	27,276,271
売上原価	22,466,607	25,405,659
売上総利益	2,049,307	1,870,611
返品調整引当金戻入額	298,000	350,000
返品調整引当金繰入額	237,000	270,000
差引売上総利益	2,110,307	1,950,611
販売費及び一般管理費	2,013,330	2,074,272
営業利益又は営業損失 (△)	96,977	△123,661
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	1,538	1,495
持分法による投資利益	6,514	440
諸債務整理益	—	1,024
その他	755	294
営業外収益合計	8,824	3,267
営業外費用		
支払利息	7,907	8,743
災害損失	6,018	—
その他	613	307
営業外費用合計	14,538	9,050
経常利益又は経常損失 (△)	91,262	△129,444
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	91,262	△129,444
法人税、住民税及び事業税	6,403	7,818
法人税等調整額	△2,030	△1,770
法人税等合計	4,372	6,047
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	86,889	△135,492
少数株主利益	350	894
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	86,538	△136,386

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	86,889	△135,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	268	△414
為替換算調整勘定	△42	277
その他の包括利益合計	226	△137
四半期包括利益	87,116	△135,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,765	△136,524
少数株主に係る四半期包括利益	350	894

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ライブ・エンタテインメント関連事業	メディア・コンテンツ事業	
売上高			
（1）外部顧客に対する売上高	23,646,421	858,625	24,505,046
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	23,646,421	858,625	24,505,046
セグメント利益又は損失（△）	409,527	△119,661	289,865

報告セグメントの売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差異は主に文化支援活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	289,865
「その他」の区分の損益（注1）	6,394
セグメント間取引消去	△840
全社費用（注2）	△198,442
四半期連結損益計算書の営業利益	96,977

(注1) その他は、主に文化支援活動によるものであります。

(注2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、当社グループは「ライブ・エンタテインメント関連事業」及び「メディア・コンテンツ事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間から単一の報告セグメントに変更いたしました。

この変更は、雑誌等の紙媒体による「出版販売＋広告」型の事業収益規模が縮小する中、事業戦略であるコンシューマー・コンテンツホルダー・興行主催者の三方面に対してより付加価値のあるサービスの提供やブランドを構築すべく策定した中期事業計画をより効率的に実行するために、これまで事業別であった管理体制と組織体制を統合し、一事業での戦略単位とするマネジメント体制に移行したことによるものです。